

<「過ぎてしまえば一番幸せ」期：「ワクワク・ドキドキ」編－3>

対象（時間）：小学1～3年生の親（120分程度）

みなおして！ ～多様な視点から子どもを見る～

【ねらい】多様な視点から見ることにより、心に余裕が生まれることに気づく。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙

時間	アクティビティの展開	留意点	備考
：	○名札付け（来た順に）	○全員が名札をつける。（ニックネーム可） ○男女混合が良いのか、男女別が良いのかは、あらかじめ決めておく。	※スケジュールを板書しておく。 ・机は講義形式
： (5分)	○ファシリテーター（学習支援者）自己紹介、主旨・ルール等説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は、予め了解を取る。（肖像権）	
： (10分)	アイズブレイク（雰囲気づくり） 「負け負けじゃんけん」 ①ペアになり、じゃんけんでは先に出す方を決める。 ②じゃんけんぽんで、先手は先に出す。後手はそれに勝つものを出す。（1分間続ける。） ③次に、後手は負けるものを出す。（1分間続ける。） ④先手交代し、同様に。 ⑤勝つのと負けるのと、さてどっちが難しかったですよ。	○初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 ○じゃんけんは相手に勝とうとするもの。「固定観念（おもいこみ）」をひっくり返す面白さ、難しさを、楽しく体験する。 ○必要に応じて、最後に数グループに分ける。 ○グループ内で自己紹介をしている間に、ワークシートを配付する。	・机を撤去 ・グループ数に応じて、机を配置
： (5分)	<エピソードを読みましよう>P2 ○黙読	○配役を決めて、読み合わせでもよい。 ○情景が思い浮かぶまで読みこむ。	
： (55分)	<考えましよう、出し合いましよう>P2, 3 ○設問に記入（10分） →意見交流（45分）	○一つの設問ごとに、答えを発表し合う。 ○時間を取ってゆっくり書いてもらう。 ○三つの約束（発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守）、ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。（パス有り）	
： (25分)	<さらに考えましよう>P3, P4 ○P3の文章をゆっくり朗読（5分） ○全体で意見交流（5分） ○P4の設問に記入（3分） ○全体で発表・意見交流（12分）	○P3の意見交流の後、多様な視点で物事を見ることにより、心に余裕が生まれることを再確認する。 ○P4の設問に記入する前に、身近な例を示し、意見を出しやすくする。 ※時間があれば☆、県民の声も読む。（県民の声は必ずしも「模範解答」ではなく、いろいろな意見があるということを示すためのもの）	
： (15分)	<学習を振り返りましよう> ○ワークシートへの記入 ○ファシリテーターの話		
： (5分)	○終了・片付け ○アンケート記入	→参加者全員で行う。 →アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰
〈メモ〉			